

● 広報

おぐに



2022

6

No. 812



－ 小国サッカースポーツ少年団 －

小国サッカースポーツ少年団は毎週火、木、土曜日に総合スポーツ公園で活動しています。

5月21日、22日には、日頃の練習の成果を発揮する10歳（小学4年生）以下の長井地区予選が生涯学習プラザ多目的広場（長井市）で開催され、14人が参加しました。大会前練習では、金康之代表指導者から「練習でやったことを思い出して」と声かけられ、子どもたちは、一つ一つの動きを確認しながらボールを追いかけていました。



彩りゆたかな白い森
かえきれないくらいたくさんの色。色。色。

Vol.
47

地域資源を活かした新たな観光ツアー

昨年度より、小国町観光協会やおぐに白い森株式会社など町内の観光に関係する団体が連携し、「観光のまちづくり」に向けた様々な取り組みを展開しています。

その中で特に力を入れているのが、滞在型、周遊型の観光交流体験メニューと宿泊を伴うツアーの企画運営です。森林セラピーや越後米沢街道十三峠、雪国ならではの食文化やマタギ文化など、町の地域資源を活用したツアーを充実させることで、町外からの来客を増やし、観光交流の輪を広げ、地域経済の活性化を図っています。

昨年度は、小国町が近隣の2市2町とともに参画している一般社団法人やまがたアルカディア観光局と連携して8つのツアーを企画しました。感染症拡大等により、5つの企画は中止となりましたが、実施できた3つのツアーには、100人を超えるお客様にご参加いただきました。

セラピーヨガなどの日帰りのプランや、家族で楽しめるプランもありますので、町民の皆さんにもぜひお気軽に参加いただき、町の魅力を再発見していただければと思います。

今年度の主なツアー予定はこちら

- ・ブナの森リトリートツアー
- ・越後米沢街道十三峠トレッキング
- ・「山の日」登山道保全ツアー
- ・萱野峠敷石掘りイベント
- ・メープルサップ&スノートレッキング
- ・つる細工を学ぶイベント



観光わらび園 町内各地でオープン！！

小国町観光わらび園組合の9つのわらび園が3年ぶりにオープンし、町外からのお客様で大賑わいとなっています。雄大な景色を眺めながら、大地からニョキニョキと生えたわらびを一本一本採っていく楽しさは格別です。園内は歩きやすくなっていますので、お子さんからお年寄りまでお楽しみいただけます。

詳しくは、観光協会ホームページOGUMOGUで案内していますので、そちらをご覧ください。

■問合先 小国町観光協会 (☎62-5130) へ





新たな決意を胸に 第73回成人式



新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年8月14日の開催予定を延期していた、第73回小国町成人式を、4月30日、おぐに開発総合センターで開催し、40人が参列しました。

式では、新成人を代表して、保科考希さん（小国町）が「自分自身が選んだ道に間違いはないと信じ、前へ前へとこれからの人生を歩んでいきたいです。そして、私たちを見守ってくださった小国町を誇りに思いながら、これからも自分の人生を自分らしいものにすることを誓います。」と成人の誓いを述べました。



町民憲章を読み上げる木戸景太さん



記念品を受け取る井上陽菜さん



成人の誓いを述べる保科考希さん



小国らしい暮らし方・働き方

～はじまる・ひろがる

おぐまー

おぐにマルチワーク事業協同組合

自然豊かな魅力的な暮らしと多様な働き方を組み合わせて、新たな生活スタイルとして注目されるマルチワーク。町では、小国らしい暮らし方・働き方にかかる調査研究に令和元年度から取り組み、マルチワークの仕組みづくりとして事業主体の組合設立に向け、賛同事業者やマルチワーカーの確保などを行ってきました。今月は、昨年11月から動き出したマルチワークの仕組みと取り組み状況を紹介し、今後の可能性を探ります。

町内で活躍している
マルチワーカーの皆さん



労働力が足りない

本町の人口は昭和35年に17787人でしたが、その後減少を続け、令和4年4月30日現在で、7016人となりました。このため、働き手となる15～64歳代の生産年齢人口も過去30年で約半数になっています。そうした要因により、地域の担い手が少なくなっています。特に近年、町内企業では、人材不足が大きな課題となっています。令和元年4月の高卒採用では募集人員の30・8%しか人材確保ができていない現状です。

こうした課題に対応し、担い手や労働人口の確保に期待されるのは移住者の確保です。これまでの移住相談等の中で、マタギやつる細工などの本町独自の伝統的な働き方に興味を持ってくたが多い一方、それだけでは、収入面で生活に不安を感じる声が多く聞かれました。そこで町では、移住定

マルチワークという 仕組みの必要性

様々な業務の組み合わせやマルチワーカー（派遣労働者）の確保、就業体制の確立など、マルチワークを導入する中で必要な業務を担う『おぐにマルチワーカー事業協同組合（吉田悠斗代表理事）』（以下おぐマル）が令和3年10月に設立されました。同組合は、町が取り組んできた調査で整理したマルチワーク事業を進める主体として、総務省の『特定地域づくり事業協同組合』制度を活用しています。この制度は組合で職員を雇用し、

事業者に派遣できる制度で、担い手を確保するための組合の運営にかかる経費の一部に国や町の助成金を活用できるものとなっています。

おぐマルが設立されたことで、事業者と移住者双方に大きなメリットがあります。それは、これまで移住を検討する場合は、知らない町で、どういった仕事があるかわからない中、求人情報から仕事を探すことしかできず、事業所も移住者の求める働き方等の詳細情報を把握できない状況で、求人を実施して

いました。また、農家等の繁忙期に人手が必要な事業所は確保する術がありませんでした。

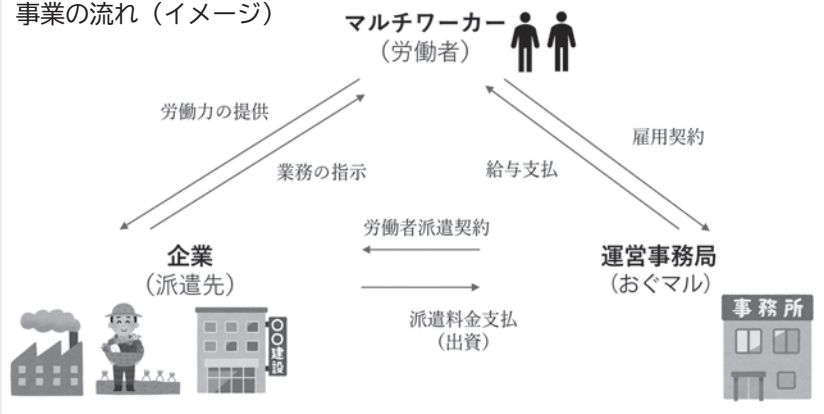
そうしたニーズのマッチングを窓口一つで可能とするのが、おぐマルの最大の特徴です。事業所は必要な時期に必要な人材を求め、移住者は様々な業種から選択して、生活や収入を考えながら仕事を組み合わせることがができます。

このような新しい働き方で、移住のハードルを下げるとともに、事業所の労働力の確保に繋がるのが期待されます。



住の促進と担い手不足の解決に向け、『小国らしい暮らし方・働き方』に関する調査を進め、この問題点を解決する方策の一つとして、着目したのが、『マルチワーカー』です。これは、既に島根県海士町で導入されており、一つの仕事だけに従事するのではなく、複数の仕事を組み合わせて通年で働いて生活するものです。

事業の流れ（イメージ）



おぐマルの吉田代表理事は地域おこし協力隊を3年間務めたあと、おぐマルの設立とともに代表理事に就任しました。おぐマルの可能性について「企業の労働力だけでなく、農家でも、田植えや稲刈りを手伝ってくれる親戚などの減少で、担い手が必要になっていきます。このように、様々な分野で人手が不足していますが、繁忙期が違うため、人手が必要な時期も違います。多様な業種を組み合わせ、1年間を通して働き方にする事で、収入に不安を感じるかたや生活に自由度を求めるかたなど、移住者の多様な要望にも対応できる暮らし方の提案が可能になると考えています。

自分の時間や生活スタイルを 組み合わせる働き方・暮らし方



吉田悠斗おぐまる代表理事

これまで地域おこし協力隊が移住定住への最初のステップとして選択される場合が多かったですが、今後は収入面で安定したマルチワークも、その選択肢の一つになることを期待しています。そして、移住窓口としての役割も担っていければと考えています。」と話してくださいました。

マル

ワーク事業協同組合

愛媛県出身の石村瑠璃さんは、緑のふるさと協力隊として岡山県鏡野町で活動していました。



マルチワーカー石村瑠璃さん

昨年11月に、全国各地から町内へマルチワーカー3人が移住、また、本年4月には町内出身者で東京から町にUターンしたかた1人も加入し、4人が就業しています（1人は都内からリモート勤務）。

数多くの仕事に就くことができることが強み

任期満了後、やりたいことが一つに絞れず、悩んでいた時に、おぐマルの体験ツアーに参加し、マルチワーカーとして当町への移住を決定しました。石村さんは「11月からガソリンスタンド、酒造会社を経て、現在は製造業に勤めています。週3日勤務し、その他は、山菜取りなど、町での生活を楽しんでいます。そうした中でも、安定した収入を得ることができることがおぐマルの一番の魅力だと思います。移住の受け皿として非常に良いと思います。今後も小国ならではの業種で働き、今後どういった働き方ができるか模索していきたいと考えています。」と話し、新たな生活スタイルに手ごたえを感じていました。

「求人募集をしても、応募が少ないのが現状です。」そう話してくださったのは、荒川興業の鈴木義昭専務です。同社は、マルチワークに賛同した14事業者の一つで、鈴木専務はおぐマルの理事も務めています。鈴木専務は「4月からマルチワーカーが勤めています。新入社員と同じように働いてもらい、少しでも業務に興味を持ってもらえればと考えています。なかなかフルタイムで働いてもらえる社員が集まらないので、新しい働き方を模索しており、こうしてマルチワーカーに短期間でも入ってもらうことで、就職へのいきつかけ作りになることを期待しています。また、繁忙期のはつきりしてい

企業も新しい働き方を模索していく必要がある



おぐマル理事 鈴木義昭専務

る事業所だけでは、業務の組み合わせが困難になる場合がありますので、年間を通して雇用できる業種も必要だと考えています。今後、町の人口が減少していく中で、マルチワーカーが増え、町の活性化につながれば嬉しいです。」と鈴木専務は事業所としての今後の希望を話してくださいました。

おぐ

おぐにマルチワ

マルチワーカーが働き始めて約半年が経過しましたが、新たな課題も明らかになってきています。一つは、短期就業のため、マルチワーカーが変わる度に仕事を一から教えることになることです。そのため、非効率ではないかとの懸念も生まれています。また、現在の14の登録事業所に対し、マルチワーカーは4人のため、事業所の希望通りの派遣ができていません。そうした課題解決のため、一定期間マルチワーカーの職業訓練を行ってから派遣することや、3年間を1サイクルと考えた働き手毎のコース作りをして、移住者から、暮らし方・働き方をイメージしてもらいやすくする工夫も必要と吉田代表理事は話します。そうしてマルチワーカーを確保するとともに、事業所の要望に応えることで、今後の事業拡大に繋がり、人口減少が進む本町

課題を丁寧に解決し労働力不足解消へ

において最終目標である『事業所の労働力不足解消』が見えてくるのだと言えます。本町には「春は山菜をとって、熊を狩る。夏は野菜を育て、川で釣りをする。秋は米やきのこ、山葡萄などを収穫する。冬はつる細工などの手仕事をして、お酒や味噌を仕込む。（※おぐマルホームページ抜粋）」そうした『小国らしい暮らし方・働き方』がありました。町民には当たり前の生活スタイルでも、それが、移住を希望するかたがたには、輝いて見えるようです。現在では、その一つ一つでは、生計を立てることが難しいものの、魅力あふれる小国らしい仕事です。それらを組み合わせることで、本町でしか体験することのできない新しい暮らし方や働き方になると考えます。

町は、今後も様々なかと協力し、チャレンジを続け、課題解決を目指していきます。



小国の春を告げる

石楠花ウィーク開催

4月29日～5月5日までの期間、道の駅白い森おぐにを会場に石楠花ウィークが開催されました。施設内各所に配置された石楠花はちょうど見ごろを迎えていました。5月3日からは、マタギ文化の紹介として熊の毛皮や衣装の展示、狩猟映像の上映を行い、来場者を楽しませました。

期間中はたくさんの来場者が、小国町の春の訪れを存分に感じていました。



▲マタギ文化を紹介するブースを設置

令和4年度小国町スポーツ少年団本部

入団式・春季体力テスト実施

小国町スポーツ少年団本部主催の入団式および春季体力テストが、5月7日に町民総合体育館を主会場に行われ、7つの団から、76人が参加しました。式では、齋藤良行本部長が「新型コロナが収束しない中ですが、スポーツを通して、健康な体をつくりましょう」と団員を激励、その後、春季体力テストで各団員は、立ち幅跳びや50m走など計7種目のテストに真剣に取り組んでいました。



地縁団体大字沼沢

国道113号の環境美化活動

4月24日、地縁団体大字沼沢（遠藤幸司代表）による国道113号の環境美化活動が行われ、約50人が参加しました。これは、民間団体と道路管理者が連携して道路の利活用を推進するため、自発的に取り組む民間団体を、道路協力団体に指定する制度に基づき実施されているものです。同団体は平成28年に国道113号の道路協力団体に指定され、それ以降毎年環境美化活動に取り組んでいます。



ひまわりの絆プロジェクト

いのちの大切さを学ぶ

平成23年に京都府内において交通事故でなくなった4歳の男の子が幼稚園で育てていたひまわりの種を引き継ぎ、育てることで、交通事故根絶を願い、命の大切さを学ぶ「ひまわりの絆プロジェクト」が平成27年に京都府から始まりました。同プロジェクトの取り組みとして、5月12日に白百合保育園でひまわりの種まきが行われ、園児29人が参加しました。この取り組みには、町内保育園3施設が賛同し、他の2施設でも同様に実施されています。



▲標高240m付近に築城された山城周辺からの眺望

「伊達な置賜四十八館」～小国山城を巡る～

当時の情景を思い浮かべる

山形おきたま観光協議会による「花×伊達な城館ウォーク2022」イベントの一環として、「伊達な置賜四十八館」～小国山城を巡る～が通称「お城山」とよばれる横根山麓の山城で5月21日に開催され、県内外から10人が参加しました。参加者は講師の渡部眞治さん（おぐに歴史文化研究会会長）の解説で山城ウォークを楽しみ、「登るのは大変だったけれど、こんなに高いところに山城があったなんて驚きました。」と当時を思い浮かべていました。

叶水小中学校PTA主催

地区内のごみを集めてリサイクル

叶水小中学校PTA（渡部寿郎会長）によるリサイクル活動が5月7日に行われました。空き缶や新聞紙などが地区から集められ、小中学生や保護者、教職員が分別作業を行って、資源回収業者に引き渡しました。参加した須貝欧右さん（叶水中2年）は「地区全体のごみを綺麗にできて良かったです。4月になり新しい人が増えましたが、協力して作業することで団結力も深まったと思います。」と話されました。収入はPTAの活動費として使用されます。



未来に伝えたい

白い森おぐにの

文化遺産

その14 虚空蔵窟

虚空（こくう）という、広大

無辺な空間のなかに無量の知恵と福德をおさめ（蔵し）、人びとに与えるときれている虚空蔵菩薩。知恵授けの仏さまとして信仰を集め、数え年十三歳になると本菩薩を祀る寺社へお詣りにいく、「十三詣り」という行事がおこなわれてきた地域もあります。また、この虚空蔵菩薩は丑年と、今年の干支である寅年生まれを守り本尊ともされています。

そのような虚空蔵菩薩像が祀られているのは、虚空を象徴する山の頂であることが多く、置賜地方では白鷹町の白鷹山（通称、虚空蔵山）が有名です。本町においても、小股や市野沢などでは山の上に建つお堂のなかに納められており、そのうち前者の虚空蔵菩薩像は、町の指定

文化財にもなっています。

一方、上岩井沢では、そのような頂ではなく、川辺にある岩窟のなかに虚空蔵菩薩像が祀られています。虚空蔵窟（いわや）と呼ばれるその岩窟は、大沢川の上流右岸にあり、一帯には人の背丈を超える大岩が立ち並んでいます。そのなかの山手側にそびえ立つ巨岩の下の方にご尊像を納めた祠堂が置かれています。



▲手前（川側）にある広い窟

ます。ここは「奥の院」とされる場所で、ひっそりとした厳かな空気が辺りを包んでいます。

その手前（川側）にある大岩の下にも人が入れるほどの大きな窟が広がっており、河原から持ち運ばれてきたであろう数多くの岩石が底に散らばっています。前号で紹介したように、ここからの情景が小国八景の一つに取り上げられており、「昼さえも暗き岩屋の夜の雨 洩るとなけれど音の淋しき」と詠まれています（※注）。ところで、この虚空蔵菩薩像は一時、行方知れずとなっていたようです。『小国の信仰』（小国町誌編集委員会編、1994年）には、それが戦後発見され、現在のように奥の院に安置されるようになった経緯について書かれています。それによると、沢向かいでたまたま本像を発見したある女性が、その後、頭痛といった体調不良が何年も続いたため法印様と相談し、ここに奉納することとしたようです。そして、その後はびたりと痛み



▲ご尊像を納めた祠堂

が治まったとのことでした。

厳かなたたずまいをみせる奥の院。そこにそびえ立つ大岩は、人為を超越した大地の力を感じさせます。古来先人たちは、そこに仏への祈りを込め、その加護を願ってきたのです。窟周辺はきれいに手入れされており、そのような篤（あつ）い信仰が今も変わらずそこに息づいていることを教えてくれます。

注 表記は『小国の文化財』（小国町誌編集委員会編、1999年）による。なお同書には、本歌の作者として佐藤忠兵衛という歌人の名前を挙げているが、その詳細は不明である。

（教育委員会生涯学習室）

「地域おこし協力隊になりました」

地域おこし協力隊 かけはた 欠端 あやの 彩乃



はじめまして！地域おこし協力隊として、歴史民俗資料館整備運営部門を担当することになりました欠端彩乃です。岩手県盛岡市の出身で、今年の3月に山形市内の大学を卒業し小国町で生活することになりました。一度も小国町に来たことがなかった私は、初めて訪れた3月の想像以上の雪壁に圧倒されました。その一方で、トンネルを抜けて目に入ってきた雪山の輝きには心を奪われ、もっと小国町の魅力を発見していきたいと思いました。

卒業研究での経験から事業に加えて、小国町の郷土料理継承活動にも取り組む予定です。地域の皆様にはお世話になる場面があると思います。小国暮らしを楽しみたいので、ぜひ声をかけてください！未熟者ですが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いします。

「合同サロン開催！！」

地域おこし協力隊 なかはら 中原 りょう 凌

残雪も消え、暖かい日が続き夏の訪れを感じています。今年はわらび園をオープンする所が多く、昨年よりもわらび園の山焼きに参加させていただいています。

さて、3月に2年ぶりの東部地区と北部地区の（感染対策を取りながら）合同地域サロンを旧あさひ保育園で行いました。

東部地区のかたがたと、旧あさひ保育園に到着すると北部のかたがたがご馳走を用意して、待っていてくれました。久々に再会するかたも多くお話は尽きず充実した時間を過ごせました。午後からは、ペンタトニック・ハーモニカ倶楽部においでいただき、懐かしい曲を演奏していただき、みんなで歌いながら交流を深めました。

久々の合同地域サロンはとても楽しい時間になりました。北部ん家（北部地域サロン）の皆さん、事前準備からご馳走まで用意して頂き、ありがとうございました。次回は東部地区でお待ちしています！



7月には、 第26回参議院議員通常選挙

が予定されています

国民の声を政治に反映させるための大事な選挙です。忘れずに投票しましょう。

5月25日現在、投票日が決まっていますが、確定しましたら、全戸配布にて詳細をお知らせします。

投票方法

参議院議員通常選挙は、山形県選出議員選挙と比例代表選出議員選挙の2つの投票となります。山形県選出議員選挙は「候補者名」を、比例代表選出議員選挙は「政党名」または「候補者名」をそれぞれ投票用紙に記入して投票します。

期日前投票は公示日の翌日から投票前日まで

投票日当日に、仕事や買い物、レジャー等で不在になるかたは、期日前投票をしましょう。入場券を忘れずにご持参ください。お手元ないか

たは、投票所で係員にお申し出ください。

会場① 役場2階ラウンジ
会場② 健康管理センター
森のホール

を予定しています。

各種不在者投票について

■ 町外に滞在されているかたの不在者投票

仕事や学業などで、投票期間中、町内にいないかたは、滞在地の市区町村で不在者投票ができます。投票用紙等は、所定の手続きにより郵便で交付しますので、郵送の期間を考慮し、早めにお手続きください。

指定病院等での不在者投票

都道府県選挙管理委員会が指定した病院、老人ホーム等の施設に入院又は入所されているかたは、申し出により、その施設で不在者投票ができます。詳しくは、各施設にお問い合わせください。なお、町内では、次の施設が指定されています。

- 町立病院
- 介護老人保健施設温身の郷
- 特別養護老人ホームさいわい荘

郵便による不在者投票の代理記載制度

重度の身体障害があるかたなど、一定要件に該当するかたは、郵便による不在者投票ができます。その際、自書できないかたは、あらかじめ届け出られたかたが代理記載をすることもできます。郵便による投票をされる際は、事前に「郵便等投票証明書」の交付を受け、早めにお手続きください。

投票所、投票時間は、事前に配布される入場券に記載していますので、ご確認ください。

◎ 投票所の変更について
次の投票所は、投票区の統合により、投票所が変更となります。

これまで	→	今後
松岡公民館	→	小国小学校
今市活性化センター	→	旧沖庭小学校
旧北部小学校	→	白い森交流センターりふれ

問合先

詳しくは、選挙管理委員会事務局（☎62-2112）にお問い合わせください。



令和4年 第4回 小国町議会臨時会

令和4年第4回臨時会が4月28日に開催されました。令和4年度一般会計補正予算や条例改正が審議され、原案のとおり可決されました。内容は次のとおりです。

一般会計に

935万9千円を追加

町内の農業者団体が行う大豆生産拡大の取り組みを支援するほか、旧伊佐領小学校を歴史民俗資料館として整備するにあたり、学芸員の資格を有する地域おこし協力隊を採用する経費を追加することとし、補正後の予算総額は、61億2435万9千円となりました。

病院事業会計に

5万6千円を追加

令和4年2月7日に町立病院敷地内で建物からの落雪により、町内在住のかたが所有する車両を損壊させる事故が発生しました。これに伴う保

険手続き調整の間、代車として利用したレンタカー費用について、保険適用外となるため、その経費を追加することとし、補正後の予算総額は12億5176万5千円となりました。

小国町税条例を改正しました

個人住民税において、住宅借入金等特別税額控除について、所得税における「住宅ローン控除」の制度改正と合わせ、適用期間の延長および見直しを行い、所得税額から引ききれなかった住宅ローン控除の残額に相当する額を、翌年度の町民税から控除する措置を4年間延長するとともに、控除額の計算率、控除最高額を見直しました。

小国町病院事業の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

令和4年3月に策定した、

小国町立病院経営強化プランに基づき、一般病床数を「55床」から「45床」に削減するため、病床数に関する規定を改正しました。本町の人口減少をはじめ、医療現場の変化による患者数の減少および医師や看護師等医療スタッフの確保の難しさ等の状況などから総合的に判断したものです。

損害賠償の決定について

補正予算議案で前述した令和4年2月7日に発生した事故について、損害賠償の額を決定しました。町立病院が加入している（公社）全国自治体病院協議会の病院賠償責任保険により、車両は全損扱いと査定され、賠償金は、82万2650円となりました。

故 今正徳さんが旭日単光章を受章



元小国町議会議員の今正徳さん（小国小坂町）が、旭日単光章を受章され、4月25日にご遺族に伝達されました。今さんは、平成7年4月から平成27年4月まで5期20年の永きにわたり、町議会議員として、地方自治の振興発展や本町の福祉向上に大きく貢献されました。

医療用ウィッグ・乳房補正具の 購入費用助成

町では、がん患者のかたの就労や社会参加を応援し、療養生活の質がより良いものになるように、ウィッグ（かつら）や乳房補正具（補正パッド等）の購入経費の一部を助成します。

■対象者（すべてを満たすかた）

①小国町内に住所を有するかた②がんと診断されたかた③がん治療による脱毛や乳房の切除により、就労や社会参加等に支障があるまたは支障が出るおそれがあり、ウィッグや乳房補正具が必要となっているかた④令和4年度以前において、本事業の助成を受けていないかた⑤他の法令等に基づく助成等を受けていないかた

■助成対象経費 令和3年4月1日以降に、医療用ウィッグおよび乳房補正具を購入した経費

■助成額 医療用ウィッグ20,000円（乳房補正具は10,000円）または、購入経費の2分の1の額のいずれか低い額

■問合せ先 健康福祉課地域保健担当（☎61-1000）へ

福祉医療証について （重度心身障害・ひとり親）

重度心身障がい（児）者医療給付制度・ひとり親家庭等医療給付制度は、下記のかたに対し、保険診療による医療費自己負担額の全額又は一部を助成する制度です。

■対象者

▶重度心身障がい（児）者医療給付制度

住民税所得割の額が23万5千円未満のかたで、身体障害者手帳1・2級、精神障害者保健福祉手帳1級、療育手帳Aをお持ちのかた、または国民年金および公的年金各法の障害等級1級の障害基礎年金を受給しているかたなど。

▶ひとり親家庭等医療給付制度

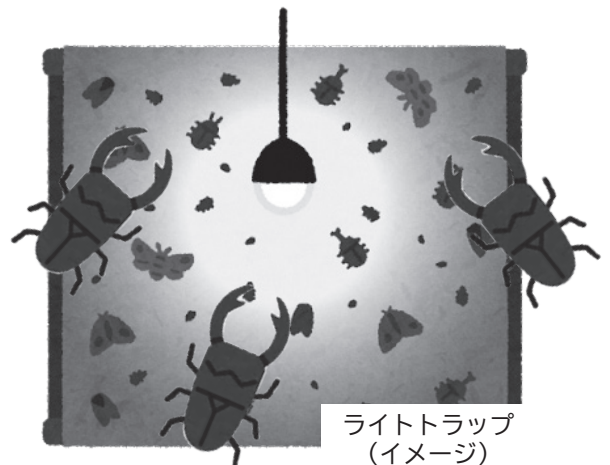
所得税非課税世帯で、母子家庭・父子家庭等世帯の親と18歳以下の児童、両親のいない18歳以下の児童

※新規の申請受付は随時行っています。具体的な要件等についてはお問い合わせください。

※現在医療証をお持ちのかたは、6月中旬頃に更新のご案内を送付しますので、更新手続きを行ってください。

■問合せ先 町民税務課国保医療担当（☎62-2261）へ

小国町内での 昆虫の灯火採集（ライトトラップ） に関する情報をお寄せください



近年、大型の照明器具等を使用した昆虫採集（ライトトラップ）が町内でも確認されています。民家への光害、発電機による騒音、私有地への無断進入などが懸念されるとともに、強い光で希少な昆虫（オオクワガタなど）をおびき寄せて大量に捕獲することとなり、生態系への影響等を危惧する声もあります。

つきましては、現状を把握させていただくため、次のような事案について、情報をお寄せください。

◇灯火採集（ライトトラップ）により

- ①生活の上で迷惑に感じたこと・困っていること
- ②実際に起きたトラブル
- ③特定の昆虫が少なくなっていると感じること 等

■連絡先

産業振興課観光交流担当

（☎62-2416・Fax62-5464・

E-mail:sangyo@town.oguni.yamagata.jp）へ

骨董品・美術品・古道具など 古いもの、買取致します。

家や蔵の整理、断捨離や遺品整理など、処分前にご相談ください。
あなたにとって不要になったものでも、次の場所で「物」は生き続けます。
どうぞお気軽に、電話にてお問い合わせください。

古道具 か り ん tel:(0238)87-3900

山形県古物商許可第 241080000678 号 〒993-0052 山形県長井市新町2番6号
（代表中野理絵）

広告

新型コロナワクチンの接種状況

12歳以上の
3回目接種済み者
4,972人
(接種率81.9%)
【5月24日現在】



6月中は5歳から11歳のかたへ1回目、2回目のワクチン接種を実施していきます。3回目を希望するかたは、7月以降の日程での調整となりますので、健康福祉課までお問い合わせください。

◇4回目のコロナワクチンの接種について◇

町では、7月以降に開始できるように町立病院と調整中です。決まりましたら、広報等にてお知らせいたします。

■問合先

健康福祉課地域保健担当（☎61-1000）へ

林業機械操作技術研修会のお知らせ

町内の森林整備の促進と、林業従事者の機械操作技術の向上を図るため、「やまがた緑環境税」を活用して、刈り払い機の研修会を開催します。（主催：産業振興課森林振興担当）

■日 時 6月28日(火) 9:00～16:00

■場 所 おぐに開発総合センター
(集会室および屋外)

■対象者 町内に住所を有する18歳以上のかた、または町内の職場に勤務しているかた

■受講料 テキスト代3,500円（当日集金）

■申込期限 6月21日(火)まで（定員28人）
※定員になり次第、締め切ります。

■持ち物 刈り払い機（お持ちでないかたはご相談ください。）、軍手、長靴、雨合羽、昼食、飲用水、筆記用具

■その他 受講したかたには「労働安全衛生教育修了証」を交付します。

■問合・申込先 小国町森林組合（☎62-2229）へ

児童手当の制度変更について

令和4年6月から児童手当の制度が一部変更になります。

■変更内容

①所得上限限度額が設けられ、下表の（2）上限額以上の場合は手当が支給されなくなります。

(万円)

扶養親族等の数	(1) 所得制限限度額		(2) 所得上限限度額	
	所得額	収入額の目安	所得額	収入額の目安
0人	622	833.3	858	1,071
1人	660	875.6	896	1,124
2人	698	917.8	934	1,162
3人	736	960	972	1,200

※所得と支給区分

- ・(1) 以上 (2) 未満のかた
特例給付を支給（月額5,000円）
- ・(2) 以上のかた
支給対象外

②現況届の提出が原則不要になります。

令和4年度から、受給者の現況を公簿等で確認することで、毎年6月に提出していただいていた現況届の提出が不要になります。ただし、公簿等で現況が確認できないため、引き続き現況届の提出が必要なかたには、町から提出案内文書を送付します。

■その他 次の事項に該当するかたは、すみやかに健康福祉課まで届出ください。

①児童を養育しなくなったこと等により、支給対象となる児童がいなくなったとき②受給者や配偶者、児童の住所が変わったとき③受給者や配偶者、児童の氏名が変わったとき④一緒に児童を養育する配偶者を有するに至ったとき、または児童を養育していた配偶者がいなくなったとき⑤3歳未満の児童がいる受給者で、自身（受給者）の健康保険証が変わったとき（受給者が公務員になったときを含む）⑥離婚協議中の受給者が離婚したとき⑦国内で児童を養育している人として、海外に住んでいる父母から「父母指定者」の指定を受けているかたで、父母が帰国したとき

■問合先 健康福祉課福祉担当（☎61-1000）へ

お知らせ

産後ケア事業のお知らせ

助産師がご自宅に訪問し、安心して育児ができるようお手伝いします。

■利用できるかた

町に住所を有する産後1年未満のお母さんと赤ちゃん

■内容 お母さんの心と身体のこと、赤ちゃんのこと、授乳のことなど、産後に関する相談を助産師がお聞きし、助言や乳房マッサージを行います。

■利用料

1500円（非課税世帯や生活保護世帯は減免があります。）

■問合先 健康福祉課地域保健担当（☎61・1000）へ

労働保険のお知らせ

令和4年度労働保険（労災保険・雇用保険）の年度更新期間は、6月1日（水）～7月11日（月）です。

■更新方法

送付された年度更新申告

書に同封のパンフレットやHPをご覧の上、最寄りの労働局・労働基準監督署・金融機関で申告および納付してください。

■電子申請について

「e-Gov」から電子申請もできますので、是非ご活用ください。労働保険関係手続（一部除く）は、GビズIDを利用して手続きができます。また、労働保険料の納付は口座振替や電子納付が便利です。

不登校・ひきこもりで悩んでいるかたの相談会開催

不登校やひきこもりで悩んでいるかたの無料相談会です。専門の相談員が学校や就労のことについて、本人やご家族からの相談に対応します。予約優先となります。

■日時 6月30日（木）10時～14時

■場所 おぐに開発総合センター 2階研修室

■予約・問合先

NPO法人With優安達（☎0238-331-9137）へ

山形県ふるさとの川愛護活動支援事業のご案内

県が管理する河川等の維持管理活動等を行う地域住民や企業等、および建設機械等を有し河川愛護活動団体の活動を支援する地域の企業に対して、県は活動負担金の交付等の支援を行っています。活動に興味のある団体はご連絡ください。

■問合先

地域整備課建設管理室（☎62-2431）へ

総合センター図書室から

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

- ◇李王家の縁談 林 真理子
- ◇大江戸妖怪かわら版 香 月 日 輪
- ◇母親からの小包はなぜこんなにダサイのか 原 田 ひ 香
- ◇にげてさがして ヨシタケシンスケ
- ◇わがままナおうさま あるほなつき

入札結果情報（令和4年4月21日～令和4年5月20日実施）

単位（円）

入札日	工 事 名	施行場所	工期（完了）	予定価格	落札業者	落札価格
R4.4.26	令和4年度小国町水道事業アセットマネジメント策定業務委託	小国小坂町地内ほか	R5.3.17	6,738,000	新日本設計㈱山形事務所	6,300,000
R4.5.13	令和4年度飯豊山荘引湯管改修工事	小玉川	R4.7.29	4,080,000	パイプライン	4,000,000
R4.5.16	令和4年度橋梁塗膜調査業務委託	古田地内ほか	R4.9.30	8,240,000	㈱三協技研山形支店	7,800,000
R4.5.16	令和4年度町道区画線補修工事	町道指定路線	R4.8.19	2,810,000	新和産業㈱	2,800,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

6月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■2歳児健診

- ・期 日 6月29日(水)
- ・受付時間 13:00~13:15
- ・対 象 R1年9月~12月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合せ先

健康管理センター (☎61-1000) へ

子育て支援センターから

■6月の広場日程

広場名称		曜日	時間	申込
なかよし広場		月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ。火・木の午前は健康管理センター)	不要
子育て講座	ハンドメイド	6/16(木)	9:30~11:20・おぐに開発総合センター	要
	ヨガ	6/21(火)	10:20~11:20・おぐに開発総合センター ※動きやすい服装でタオル・飲み物をお持ちください。	

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・平熱より1度高い場合は発熱となり利用できません。
- ・体調の悪い場合は、利用できません。

■その他 お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談をお受けしています。

■問合せ先 子育て支援センター（おぐに保育園内 ☎62-2330）へ

休日当番担当歯科医のお知らせ

6月5日(日)	米沢 高橋歯科医院	0238-23-8888	6月19日(日)	南陽 佐藤歯科医院	0238-43-2403
6月12日(日)	白鷹 五十嵐歯科医院	0238-85-2075	6月26日(日)	米沢 春日歯科医院	0238-22-3030

求 人 情 報

右の表は5月20日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井 (☎84-8609) へ

今月の納税 2022.6

6月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 6月27日(月) 水道料
- 6月30日(木) 町県民税、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合せ先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
㈱山芳工務店	電気設備工（見習い）	3人	9:00~18:00
荒川興業㈱	製造加工/臨時職員	1人	8:20~17:10
	請）製造加工	1人	
	【アークカーボン加工】臨時職員	1人	8:20~17:10他
㈱高橋工務店	ダンブトラック運転手	3人	
	土木・建築技術者	2人	8:00~17:00
	現場作業員（土木・建築作業員）	2人	
クアーズテック㈱ 小国事業所	一般事務（安全衛生・環境担当）	1人	8:20~17:10
	一般事務（購買担当）	1人	
	一般事務（製造管理担当）	3人	
	製造事務（工務・インフラ担当）	4人	
	一般事務（品質管理担当）	2人	
山和建設㈱	ガソリンスタンド業務【急募】	1人	7:00~19:00の間の9時間程度
日本郵便㈱長井郵便局	郵便物配達業務【小国郵便局】	2人	8:00~16:45
日本重化学工業㈱ 山形事業所 小国工場	電子材料の製造等スタッフ（契約社員）	10人	8:15~17:15他
	電子材料の製造等スタッフ	10人	
	電子材料の分析・検査業務（契約社員）	2人	8:15~17:15
クアーズテックマシナリ㈱	技能職（溶接・組立）	1人	8:20~17:10
大河内産業㈱	一般作業員	2人	8:00~17:00
安部工業㈱	一般作業員（土木・建築）	1人	8:00~17:00
㈱コメリ 新潟ストア サポートセンター	販売員（コメリハード&グリーン小国店）準社員	1人	8:45~13:00
	販売員（コメリハード&グリーン小国店）準社員	1人	12:45~17:00
	販売員（コメリハード&グリーン小国店）アルバイト	1人	17:00~19:30
㈱横川建設	作業員（分別作業等）	3人	8:00~17:00の間の3時間以上
	重機オペレーター見習い	3人	
小国町介護老人保健施設 温身の郷	（臨）看護師	1人	8:30~17:00
	（臨）介護員	1人	6:30~15:00他
置賜森林管理署	（臨）山林パトロール	4人	8:30~17:15

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。



戸籍のまど

(4 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

小国町 大内田 海翔 (涼葉)
緑町 齋藤 伊央吏 (彰人)

結婚おめでとうございます。

（宮の台 井上 潤
寒河江市 鈴 木 佑理恵

おくやみ申し上げます。

北	舟	山	百之助	(91)
小国小坂町	鈴	木	君 江	(85)
叶	水	渡	とも子	(67)
宮 の 台	大	木	せ つ	(93)
古	田	齋	藤 亮	(76)
小国小坂町	佐	藤	勤	(89)
伊 佐 領	那須	野	朝 男	(93)
増	岡	内 藤	徳 雄	(81)
小国小坂町	今		キ ミ	(98)
小国小坂町	渡	部	朱 美	(59)
緑	町	小 嶋	ミ ヨ	(94)
岩 井 沢	佐	竹	ス エ	(79)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき（令和4年4月30日現在）

人口	男	3,505人	(+ 11)
	女	3,511人	(+ 2)
	計	7,016人	(+ 13)
世帯数		3,014世帯	(+ 32)

編輯後記

山菜の季節がやってきまし
た。町内各観平
わらび園が3年
ぶりに開園しま
す。多くの来場
者で、賑わうと
嬉しいですね。さて、
感染対策しながらの
生活の中、スポ少活
動も活発化してきま
した。私も息子2人
の練習や試合の応援
で日々忙しくなっ
てきたところです。
こうした活動がで
きることを嬉しく思
うこの頃です。(仁科)

白い森ブランド戦略専門員就任

名前：つねだ まさし
常田 昌志

出身：千葉県船橋市

出向元：

サントリー

ホールディングス
株式会社

白い森ブランド戦略専門員として、常田昌志さんが4月に着任しました。内閣府の地方創生人材支援制度を活用したもので、民間で培われた専門的な知識を、白い森特産品のブランディング推進に活かしていただき、ふるさと納税の新たな商品開発やサービスの改良などにも取り組んでいただきます。常田さんは「自然豊かな小国を満喫し、地域活性化に貢献したい」と抱負を話していただきました。

6月のあいバイイベント

モルック教室



■日時 6月21日(火)10:00~12:00

■対象者 どなたでも

■参加費 100円（保険料込）

■持ち物 室内シューズ、飲み物など

■申込締切 6月17日(金)

■申込・問合先
(☎62-5808)へ

特定非営利活動法人
おぐに Yui
スポーツクラブ

相 談

▽行政相談

■日時 7月2日(土) 13:00~15:00

■場所役場

■対応者 行政相談委員 林公子氏

■申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ



●小国町役場 ☎ 62-2111 (代) fax62-5464

●総務課 ☎ 62-2112
●観光経済室 ☎ 62-2416
●住民窓口担当／町民生活担当 ☎ 62-2260
●建設管理室 ☎ 62-2431

●総合政策課 ☎ 62-2264
●白い森ブランド戦略室 ☎ 87-0821
●国保医療担当 ☎ 62-2261
●建設技術室 ☎ 62-2432

●会計室 ☎ 62-2406
●農林振興室 ☎ 62-2408
●税政管理室 ☎ 62-2403
●議会事務局 ☎ 62-2448

挑め、ともに！

～ 小国高校魅力化通信 ⑭ ～

【令和4年度 地域に浸る講座スタート！】

「地域に浸る講座」は小国町のキラキラした大人に出逢いに行く授業で、小国高校の特色ある学びの一つです。格好いい大人の背中に憧れながら、自分の興味関心を高めます。

4月28日オープニング講座で訪問したのは、大宮子易両神社。当日は天候にも恵まれ、桜舞い散る中、1年生29人が参加しました。宮司の遠藤成晃さんからお話を聞き、神社の境内を散策しながら、高校生が自分のスマートフォンで写真を撮影しました。クラスの生徒たちが選んだ「ベストショット」7枚の写真を紹介します。



ベストショット7選



今月の注目生徒2人にインタビュー

「遠藤成晃宮司の話では、食事の時に手を合わせることのような、普段さりげなく行っていることも、そこには様々な意味や歴史があることを学びました。一つ一つの文化の深い理由を知っていくと、昔の日本人たちの思いを知ることができてとても面白かったです。」と2人は話してくださいました。

安部 茜



Q1. 大宮子易両神社の歴史に触れてみてどうでしたか？

藤田：「私は基本的に歴史の勉強が好きではないのですが、それはきっと教科書には東京や京都の歴史ばかり紹介されているからで、自分の町の歴史を知ることがすごく楽しかったです。1300年を超える歴史を持つ神社が小国町にあるなんて今まで知らなかったし、すごく誇りに思いました」

Q2. 境内の写真を撮ってみてどうでしたか？

安部：「小国町の新しい魅力をたくさん発見できました！大宮子易両神社の桜は町中より遅咲きで、最高の時期に訪問できました。風で散った桜の花びらが神社の屋根を彩っていて、高校生の私たちにとっても凄く魅力的な風景でした」

藤田稟栞



ドローンがみた、 おぐにの風景

No. 34



③田植えの準備が進む田沢頭地区

昭和60年頃から、おぐに木酢米の栽培を始めた田沢頭地区。「みんなでつくろう なごやかな むら」を掲げ、地域住民が協力して環境保全、営農活動を展開して地域活性化を目指した取り組みが、平成22年度全国農林水産祭で「むらづくり部門」においての農林水産大臣賞を受章し、一躍脚光を浴びました。

今年も、田植えの準備が進み、環境にやさしい米づくりが続いています。